

学 校 名	おおさわ学園（大沢台小学校・羽沢小学校・第七中学校）
コーディネーター数	1人
ボランティア数	413人

□ 活動の概要

平成20年4月に、大沢台小学校・羽沢小学校・第七中学校の3校が、コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育校、「おおさわ学園」として開園した。同時に設置された、おおさわ学園コミュニティ・スクール委員会では、「子供たちを中心につなげる家庭・地域・学校は豊かなコミュニティを創り出し、地域の子供は地域で育てる」を合言葉に活動している。

地域学校協働活動本部としておおさわ学園コミュニティ・スクール委員会コーディネート部が、みたか地域未来塾や教育活動を支援する「サポート隊」の運営、地域人財の活動の調整を行ってきた。地域交流活動等への保護者・地域住民の参画促進、地域の伝統文化や豊かな自然環境を次世代に継承していく多世代交流活動も大切にしている。

□ コーディネーターの役割

ボランティアの管理・確保、学校・地域との連絡・調整機能をさらに充実させ、多様な取組を継続的に行えるよう、より効率的なボランティア登録の仕組みづくりに取り組んでいる。

学校や子供の課題は何か、課題解決に向けて、学校、保護者、地域が子供たちの学びや育ちを目的や方向性を共有しながら支援できるよう、共通理解を図る場として「地域の皆様とのお話とふれあいの会」を設けている。学校と地域を結ぶ役割として、地域の理解を得ながら丁寧に活動を進めている。

□ 活動上の工夫や配慮等

活動を実施するにあたり、学校と連携し、ニーズの把握、ICTを活用して人財派遣、ボランティアの募集を行っていることで、教員の負担は大幅に軽減されている。

学習支援や授業補助のほか、見守り活動、行事の手伝いといった幅広い活動を企画し、多くの地域人財が活躍できる仕組みを作っている。

各活動について、コミュニティ・スクール委員会評価部が中心となり、毎年保護者、地域を対象にアンケートを行い、効果検証をし、改善を加えながら、よりよい活動になるように支援している。

広報部が中心となりそれぞれの活動の内容や様子についてコミュニティ・スクールだよりやホームページ等を通じて情報発信し、人財確保に繋げている。

□ 活動の成果や感想（実践を通じた児童・生徒、地域の活動者、学校等の声や反応など）

子供たちが地域の方々と接する多くの活動があることにより、思いやりの心や地域の方々と協力して活動する大切さを学び、豊かな人間性を育むことができている。中学生のボランティア活動も定着しており、地域の方々から信頼され喜ばれている。

地域の活動が単体で行われていたものが、コミュニティ・スクールが学校と地域をコーディネートすることにより、横のつながりが生まれ、地域活動に盛り上がりが出てきた。学校への理解が進み、教育活動への協力体制が広がった。

ボランティア延べ参加者数は2,963人、ボランティア登録者数は413人も登録があり、前年度の352人から大幅な増となっている。地域からの学校への理解も進み、教育活動への協力体制が広がっている。



田植え・稲刈り収穫祭：地域の方から指導を受けた中学生が小学生をサポートしながら体験学習